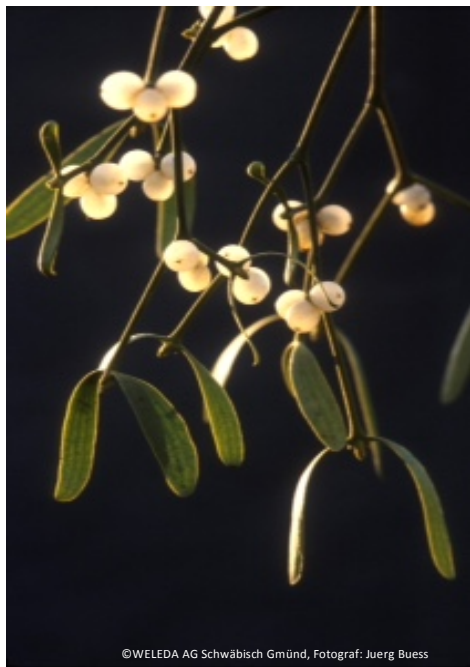


## 第3回アントロポソフィー薬学における製薬法と薬剤

\*\*\*リズム法、ヤドリギ製剤、臓器製剤、ドロン製剤\*\*\*



日 時： 2016年12月11日(日) 13時30分～16時30分

場 所： 国立オリンピック記念青少年総合センター  
センター棟105  
〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1

参加費： 一般3500円・会員3000円・学生1000円・当日500円増

定 員： 30名

対 象： 看護師、医師、薬剤師、  
アントロポソフィーを学ぶ芸術療法士及び身体療法士

講 師： 吉田秀美さん  
アントロポソフィーに基づく日本薬剤師協会会員、薬膳、ハーブ・アロマ・  
バッチフラワー講師、日本の薬草を使ってアントロポソフィー製剤学に基づ  
く薬の研究に専念。

矢部五十世さん  
アントロポソフィーに基づく日本薬剤師協会会員、  
ドイツアントロポソフィー薬剤師会会員。

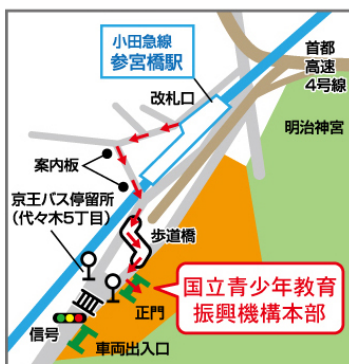
内 容：アントロポソフィー薬剤は深い叡智に基づき特別な方法で製造されます。第3回目の今回の講座では製造過程のリズム法について、製剤はヤドリギ製剤・臓器製剤・ドロン製剤をご紹介します。リズム法は、朝と夕、温と冷、動と静のリズムを通して薬剤を生命化します。ヤドリギ製剤は、ルドルフ・シュタイナーがヤドリギの生態から癌との関連を指摘し、彼の示唆に基づき製造されています。動物の臓器を用いる臓器製剤は人間のエーテル体に働きかけますが、どのような臓器が使われるのか、またドロン製剤とはどのようなものかを、今回はカルディオドロンを例に取りお話しいたします。

申し込み： FAX: 050-3415-3190 Eメール: [anthro-nr@rel-int.jpn.org](mailto:anthro-nr@rel-int.jpn.org)

受付後に確認メールを送ります。その後参加費をお振り込みください。尚、一旦振り込まれた参加費は返金できませんのでご了承ください。(代理出席は可能です) 《振込先》 アントロポソフィー看護を学ぶ看護職の会 ゆうちょ銀行 00110-9-726537

※ お申し込みの際には、必ず専門職名と関東会場と記載してください。

※ 振り込み用紙の半券(領収書)が、入場券の代わりになりますので当日お持ちください。



～アクセス～

小田急線：参宮橋駅下車 徒歩約7分  
地下鉄千代田線：代々木公園駅下車(代々木公園方面4番出口) 徒歩約10分  
京王バス：新宿駅西口(16番)より 代々木5丁目下車/渋谷駅西口(40番)より 代々木5丁目下車